

医学系研究に関する情報公開および研究協力のお願

聖隷浜松病院では、当院の臨床研究審査委員会の承認を得て、下記の医学系研究を実施しております。

研究の実施にあたり、対象となる方の既に存在する試料や情報、記録、あるいは、今後の情報、記録などを使用させていただきますが、対象となる方に新たな負担や制限が加わることは一切ありません。

ご自身の試料や情報、記録を研究に使用してほしくない場合や研究に関するお問い合わせなどがある場合は、以下の「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。研究への参加を希望されない場合、研究対象から除外させていただきます。研究への参加は自由意思であり、研究に参加されない場合でも、不利益を受けることは一切ありませんのでご安心下さい。

研究課題名	脳波検査で過呼吸賦活を省略することの影響
研究責任者	代表：波多野敬介 分担研究者：てんかん科 藤本礼尚、佐藤慶史郎、小児神経科 榎日出夫
研究実施体制	統計解析およびデータ収集：波多野、藤本、榎、佐藤 単一施設、非盲検、後方視
研究期間	臨床研究審査委員会承認日～2023年3月
対象者	2019年1月から2021年10月の間で過呼吸賦活を行った脳波検査と行っていない脳波検査の両方を受けた患者さん
研究の意義・目的	COVID-19 流行により、脳波検査で従来行われてきた過呼吸賦活は感染リスクの点で2020年4月より省略されるようになりました。てんかんの診断を見落とすリスクが予想されますが、過呼吸賦活の省略による影響はこれまで報告されておらず、明らかにすることが目的です。
研究の方法	【方法】過呼吸賦活を行った脳波検査と行っていない脳波検査を比較 【選択基準】上記対象患者で若年ミオクロニーてんかんと診断された症例 【除外基準】1回目の脳波検査時に未治療あるいは維持量まで内服調整が至っていない症例 【予定症例数】30 症例 【症例数の設定根拠】2019年1月から2021年10月に脳波検査を施行した若年ミオクロニーてんかんの方が50名ほどであった。
個人情報の取扱い	本研究で利用する資料や情報、記録からは、直接ご本人を特定できる個人情報は削除した上で、研究成果は学会や雑誌等で発表されます。取り扱う情報は、厳密に管理し、外部に漏洩することはありません。なお、個人情報の利用目的等について詳細をお知りになりたい場合は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
個人情報開示に係る手続き	個人情報開示の手続きについては、「問い合わせ窓口」にご相談下さい。
資料の閲覧について	ご要望があれば、開示可能な範囲で、この研究の計画や方法について資料をご覧いただくことができます。ご希望の方は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
問い合わせ窓口	聖隷浜松病院 てんかんセンター (氏名) 波多野敬介 TEL:053-474-2222(代表) てんかんセンター外来 9:00～17:00 平日